

陽のあたる坂道 (1975)

メディア 映画
ジャンル 青春 ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 116分
初公開日 1975/11/01
公開情報 東宝

【解説】

石坂洋次郎の同名小説を、池田一郎が脚色し吉松安弘が監督。撮影を上田正治、美術を村木忍がそれぞれ担当した。1958年版、1967年版に続いて三回目の映画化。

女子大生の倉本たか子は、田代家の娘くみ子の家庭教師となった。くみ子は幼いころに負った怪我が原因で、足が不自由だった。兄の雄吉は秀才でエゴイスト、弟の信次は画家志望で自由奔放。信次は自分が芸者の子供だと知り、たか子のアパートの隣に住む高木トミ子に会いに行く。彼女こそ信次の実の母だったのだ。しかしトミ子の息子である民夫は、突然自分の兄だと名乗る信次を追い出してしまう。やがて河原で再会した二人は、殴り合いの喧嘩を始めるのだったが…。

【クレジット】

監督 吉松安弘
製作 田中収
津島平吉
企画 東宝企画
原作 石坂洋次郎 「陽のあたる坂道」
脚本 池田一郎
撮影 上田正治
美術 村木忍
編集 黒岩義民
音楽 小野崎孝輔
助監督 山下賢章
出演 三浦友和
檀ふみ
浅田美代子
池部良
新珠三千代
松崎登
山本伸吾